NGU 教養スタンダード

NGU 教養スタンダード

本学のカリキュラムの特色のひとつとして、どの学部の学生でも学べる≪NGU 教養スタンダード科目≫を開設しています。≪NGU 教養スタンダード科目≫は、現代社会で生きていくために必要な知識と技術をしっかり身につけ、専門知識だけに偏らない豊かな人間性を育てるために、次のような 3 つの目標を掲げて、カリキュラムを編成しています。

- キリスト教主義にもとづいた豊かな人格の形成
- 社会生活に必要な知識や技術の修得
- 成熟した市民として必要な教養の養成

NGU 教養スタンダード科目の構成

キリスト教に関する科目

＜キリスト教＞に関する科目は、キリスト教主義大学である本学の核心です。必修科目の「キリスト教概説 1」「キリスト教概説 2」では、世界の文明に大きな役割を果たしたキリスト教を、人間、歴史、社会、生命などとの関わりにおいて考え、世界に通用するしっかりとした人間観・世界観を築く足がかりとします。

自己理解と自己開発に関する科目

1 年生の必修科目である「基礎セミナー」では、少人数クラスで「大学で学ぶことの意義」について理解し、有意義な大学生活を送る足がかりを形成することを目的としています。さらに、大学での学びを促進させるスキルの習得をめざして、授業を受ける技術、プレゼンテーションの技法、情報検索の方法など、2 年次以上のゼミナール活動の基本となるスキルについて学ぶことを目標としています。また、「キャリアデザイン 1a～2b」などの科目を配置して、「将来なりたい自分とは何か」についてしっかりしたイメージを養うとともに、職業を考え将来のキャリアを設計するための足がかりとします。

情報に関する科目

情報教育の充実は、本学の大きな特色です。全学生にノートパソコンを配付し、すべての学生がコンピュータを使って学べるように指導しています。必修科目の「情報処理基礎」では、コンピュータやネットワークの基本的な利用方法を半年間でマスターします。

言語とコミュニケーションに関する科目

外国語については、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「スペイン語」、「中国語」、「韓国語」の 6 カ国語を学ぶことができます（学部によっては履修できない外国語もあります）。また、「日本語表現上級」も学修することができます。

社会的教養に関する科目

自分で考える力を養い、深みのある人間性を身につけるためには、一般教養の修得が欠かせません。本学では、＜歴史・文化＞、＜社会＞、＜自然・人間・生命＞、＜地域＞の 4 区分の学修を通じて、適切な教養の修得を目指します。

教職に関する科目

ここに配置されている科目は教員免許取得をめざして教職課程に加入している者だけが受講できる科目です。実際に教員免許を取得するためには、教職課程履修規程にもとづき、この領域の科目に加えて、その他の指定された科目を履修する必要があります。

地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）

大学 COC 事業に関する 4 年間の学修

文部科学省は「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」を通じて、全学的に地域と連携した教育・研究・社会貢献に取り組む大学を支援しています。2013 年 8 月、名古屋学院大学は同事業に採択され、学生のみなさんが地域のことに興味関心を抱き、学修意欲を高められるカリキュラムを充実させました。これにより、企業が必要とする「社会人基礎力」が高まり、4 年後の就職にも有利となることをめざしています。

※　COC は「Center of Community」の略で、「地域再生の核となる大学」という意味です。

学生のみなさんは、下図に示すカリキュラムにより、行政や地域（住民・企業・団体）とも連携・協力しながら学修を進めていきます。これらの授業においては、教室内での学修はもちろんですが、学外でのイベントやフィールドワークに参加する場合もあります。

COC に関するカリキュラムの流れ

カリキュラム	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
① 教育イベント「まちづくり提言コンペ」	→			
② 課題解決型授業（PBL）	→	→	→	→
③ 地域志向型科目（各学部専門科目）	→	→	→	→
④ 教育イベント「地域フォーラム」			→	→

① 全学生が参加する **1 年生の教育イベント**として、「基礎セミナー」において、名古屋市または瀬戸市にかかわる**「まちづくり提言コンペ」**を実施します。

② **課題解決型学習（PBL）**として、全学共通の≪NGU 教養スタンダード科目≫において、地域商業・歴史観光・減災福祉に関する「まちづくり学」「まちづくり演習」を開講するとともに、希望者は「上級まちづくり演習」で継続受講することも可能です。

③ 各学部の専門科目において、地域を学修対象とした**地域志向型科目**を開講しています。

④ 全学生が参加する **3・4 年の教育イベント**として、「演習」での課題研究の成果などを地域の方向けに発表する**「地域フォーラム」**を実施します。専門科目としての演習科目やゼミなどで学修・研究した成果を広く地域へ発信します。

初級まちづくりマイスター

COC 事業で取り組んでいる 3 つのまちづくり分野（地域商業・歴史観光・減災福祉）ごとに COC カリキュラムで開講している「まちづくり学」「まちづくり演習」科目の両方を履修し単位修得した学生に対し、「初級まちづくりマイスター」を認定します。

上級まちづくりマイスター

COC 事業で初級まちづくりマイスターを認定された者のうち、「上級まちづくり演習」を履修し単位修得すること、かつ公的な社会的活動に従事したり公的資格の取得をした学生を対象に、「上級まちづくりマイスター」を認定します。

スポーツ健康学部　スポーツ健康学科

教育目標（学則第 3 条の 2 より）

スポーツ健康学科は、幼児期から高齢者までを対象とした、生涯スポーツを通しての健康づくりと維持・増進について学び、実践できる人材の養成を教育目標とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

スポーツ健康学科に所属する学生は、卒業後に多様な職域において健康維持・増進、疾病予防、生涯スポーツ、スポーツ健康教育などを推進することが期待されます。学部および学科のカリキュラムを履修、学修することをとおして、以下の能力が獲得できます。これに併せて、卒業に必要とされる所定の単位と要件を満たした学生にはスポーツ健康学部から学士（スポーツ健康）の学位が授与されます。

知識・技能

1）人体の構造と機能やスポーツ・健康に関する基本的知識を理解し、その概要を説明することができる。
2）健康や体力の維持向上に対する運動の効果について理解し、その機序を説明することができる。
3）学校、企業、地域などにおけるスポーツ振興や健康増進活動を理解し、その概要を説明できる。
4）スポーツ・健康に関する現代的課題を理解し、その概要を説明することができる。
5）主要な運動種目の基礎的技能を発揮することができる。
6）主要な運動種目の指導法の基本を実践することができる。

思考力・判断力・表現力

1）情報を整理し、その結果をまとめるとともに、それらに関するプレゼンテーションをおこなうことができる。
2）社会におけるスポーツや健康に関する課題の実態を把握し、その関連要因、解決方法あるいは改善策を提示することができる。
3）運動や健康に関する教育・指導に関して、実施の対象や諸条件に合わせて適宜企画し、実践の場面で臨機応変に改変し対応することができる。

主体性・多様性・協働性

1）スポーツや健康に関する情報を積極的かつ広範に求める態度を身につけている。
2）課題解決に対して常に積極的に周囲と協力して取り組む態度を身につけている。
3）教育･指導の場面においては参加者（受講者など）の立場を考慮することができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

ディプロマ・ポリシーの能力の獲得を目的として、スポーツ健康学科では、以下のカリキュラムを提供しています。スポーツ健康学科のカリキュラムは、≪NGU 教養スタンダード科目≫、≪学部共通科目≫、≪学科基礎科目≫、そして≪学科専門科目≫によって構成されています。カリキュラムと≪専門科目≫の特徴は以下のとおりです。

教育内容

1）カリキュラムは、成熟した市民としての基礎的素養を修得する≪NGU 教養スタンダード科目≫、スポーツ健康学部の 2 学科に共通して必要な知識・技能を修得する≪学部共通科目≫を設置しています。その上に学科に特化した≪学科基礎科目≫と≪学科専門科目≫を設定しています。

2）≪学部共通科目≫においては、スポーツや健康に関する基礎的広範な科目を配置しています。

3）≪学科専門科目≫においては、＜スポーツ実技科目＞、＜スポーツ科学科目＞、＜健康科学科目＞、そして＜演習科目＞を配置しています。

＜スポーツ実技科目＞は、基本的なスポーツ種目についての深い理解と、各種目の専門的技能の習得をねらいとしています。

＜スポーツ科学科目＞は、スポーツに関連した学問領域についての専門的知識の修得をねらいとしています。

＜健康科学科目＞は、健康に関係した主な科学的領域に関する基本的知識の修得をねらいとしています。

＜演習科目＞は 4 年間を通じたゼミナール科目と、教職に就くための資質･能力の総仕上げをする「教職実践演習」を配置しています。

教育方法

1）多人数講義においても ICT を活用した情報提供ツールを積極的に活用し、知的興味・関心を醸成します。

2）講義科目においては、小テストや面接を通して受講生の学習状況や理解度の把握に努めます。

3）演習科目については、担当教員が学生相互の議論を誘導し、集団討議や成果発表をおこないます。

4)実習科目においては、本学及び地域の教育施設などにおいて、学内で習得した知識や技能を更に確かなものにすることや、児童生徒、社会人更に中高齢者などの健康増進活動への関与もねらいとしています。

学修成果の評価

1）各科目の評価は、原則として平常点および期末試験などによる総合評価（100 点満点）によりおこなわれます。

2）思考力・判断力・表現力や主体性・多様性・協働性については、それぞれの授業科目において必要に応じて達成度指標を設けて段階的に評価したうえで総合評価に加えます。

3）学修の成果として GPA の他、卒業論文や論文などで達成度を評価します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

スポーツ健康学科では、スポーツ科学や健康科学に関する広範な知見を学び、スポーツの実践力の向上への意欲はもとより、スポーツや体育の指導者に必要な知識、技術および能力の修得について強い関心をもつ学生を優先して迎え入れています。具体的には卒業後の進路として、中学校や高等学校の保健体育教諭、スポーツクラブなどの指導者、その他の職域あるいは地域において積極的にスポーツ活動の振興や健康行動獲得の推進に貢献する人物像を意識して欲しいと考えています。

カリキュラムの概要

≪学部共通科目≫では「健康科学概論」ならびに「スポーツ科学概論」を始め、基礎的な内容を扱う講義とスポーツ実技科目が配置されています。

≪学科専門科目≫の＜スポーツ実技科目＞としては、学校体育で扱われる主要な種目（内容）を中心に、それらに関する知識を学ぶと同時に、基礎的な技術や指導方法を身につけます。

＜スポーツ科学科目＞では、「スポーツトレーニング論」や「体力トレーニング論」を始め、スポーツに関する自然科学ならびに人文社会科学分野の科目が配置されています。

＜健康科学科目＞としては、「スポーツ薬理学」や「保健統計」を始め、健康対策や疾病予防などに関する科目が配置されています。

＜演習科目＞としては「専門演習」（2 年次）、「研究演習」（3 年次）および「卒業研究」（4 年次）が置かれています。これらに加えて 1 年次に≪NGU 教養スタンダード科目≫として開設される「基礎セミナー」および「発展セミナー」を連携させて、4 年間をとおしての一貫した演習指導体制を準備しています。

なお「教職実践演習」は教育実習と一体化して展開される科目で、教職課程に必要な特別なものとして置かれています。

カリキュラム上の特色

学部開設の多くの科目が選択科目で、必要に応じて履修する体制となっています。必修は≪学部共通科目≫が 5 科目、≪学科基礎科目≫の「解剖･生理学」、≪学科専門科目≫の「スポーツトレーニング論」と「健康運動教育論」です。

選択科目をどのように選ぶかについては、自分の興味関心と将来の職域（資格取得を含めて）を考慮する必要があります。

本学科において、保健体育（中高）の教員免許を取得することを目的とした場合には、教職必修科目を確実に選択することが必要です。履修モデルを参考にして、詳細は「教職課程ハンドブック」で確認してください。なお、教員免許は取得することが主目的ではなく、教職に就くことが最終目的ですので、関連する科目を積極的に履修することが大切です。

また日本スポーツ協会、健康・体力作り事業財団などが認定する資格の取得を希望する場合は、それらに必要な科目を修得する必要があります。このことも履修モデルを参考に、適切な科目を選択してください。

演習科目

演習科目とは

スポーツ健康学科では、1 年次に「基礎セミナー」および「発展セミナー」、2 年次に「専門演習」、3 年次に「研究演習」さらに 4 年次に「卒業研究」を配置することにより、4 年間一貫した少人数でのゼミナール形式の演習をおこないます。

みなさんは、学修のそれぞれの段階で、指導教員のもと、自らの関心を広げ、課題を発見し、研究や討論を通じて問題を解決しながら、能力の向上に努めてください。

また、4 年間一貫のゼミナール教育で、積極的な人間的交流をはかることにより、幅広い友人関係を育み、指導教員を含めた有機的なコミュニケーションのパイプを築いてください。

ゼミナールは 4 年間の大学生活の中核であり、学修、研究、指導教員やゼミ生間の交流をとおして大学での学修の集大成となり、将来の人生への基盤となるものです。

基礎セミナーおよび発展セミナー

1 年次配当の「基礎セミナー」および「発展セミナー」は、導入および基礎教育をフォローするための科目です。2・3 年次においての専門研究に取り組むための基礎を築きます。

① スポーツや健康に関する文章を読み、その内容を要約、紹介する。

② スポーツや健康に関する問題を提起し、討論する。

③ スポーツや健康に関する情報を収集し、紹介する。

④ 図書検索や、インターネットを利用しての検索を学修する。

①から④の方法をとおして、健康に関する知識を高めながら、読解力の育成や文章を要約しまとめる能力の向上をはかります。

専門演習

2 年次配当の「専門演習」では、興味のあるスポーツや健康に関するテーマを基本に、指導教員のもとで、より専門的な学修をおこないます。

① スポーツや健康に関する図書や文献を読み、その内容について紹介、討論をおこなう。

② スポーツや健康に関する英語の文章を読み、報告、討論をおこなう。

③ スポーツや健康に関するテーマの中で、関心のある事象を調べ、報告する。

④ レポート作成やプレゼンテーションの基礎を学ぶ。

研究演習

3 年次配当の「研究演習」では、スポーツや健康に関する多くの課題の中から、卒業研究テーマを模索しながら自らの関心を絞り込み、情報収集、資料収集を通じて卒業研究テーマの基礎を学修します。

① 国内および海外で刊行された専門の文献や著書を読み、その論点の要旨を理解する。

② 専門の文献や著書の読解をとおして、その論点を理解し、問題点を探る。

③ 関心のある事象の問題点を整理し、その解決方法を探る。

④ 関心のあるテーマを絞り、研究課題を策定、プレゼンテーションをおこなう。

⑤ プレゼンテーションおよびその討論を基礎にして研究報告書（4,000 字以上）の作成をおこなう。

卒業研究をおこなうための基本的研究への取り組み姿勢を養いながら、研究の方法論を身につけてください。

なお、「研究演習」の登録は前年度の秋学期から開始され、選考がおこなわれます。自分の希望する教員のゼミでどのようなことがおこなわれているかを演習概要で確認してください。そして、オフィスアワーを利用するなどしてその教員を訪ね、面談の上で決定すると良いでしょう。

卒業研究

「卒業研究」は、「研究演習」の指導教員のもとで作成した「研究報告書」をもとに、専門的研究の集大成として、研究成果を卒業論文（10,000 字以上）にまとめます。

演習科目の履修にあたって

以下の場合は「研究演習」の履修ができませんので、注意してください。

1) 2 年次の終了時点で総修得単位数が 48 単位に満たない者

2) 「基礎セミナー」を修得していない者

また原則として、「研究演習」を修得していない者は、「卒業研究」を履修できません。

スポーツ健康学部で取得できる資格

スポーツ健康学部のカリキュラムにある特定の科目を履修し単位を修得することにより、以下の資格を取得または受験資格を取得することができます。履修の詳細については、ガイダンスなどで説明します。積極的に参加し、情報を収集してください。

なお資格取得については、資格課程登録料のほかに実習費、宿泊費、保険料、資格試験料などを徴収する場合があります。

資　格　種　類	対象学科	資格課程登録料など
スポーツリーダー	スポーツ健康学科	2 年次春学期の資格課程登録の際に、登録料の詳細をお知らせします。
スポーツプログラマー（受験資格）	〃	
アシスタントマネージャー（受験資格）	〃	
ジュニアスポーツ指導員（受験資格）	両学科	
レクリエーションインストラクター	〃	
健康運動実践指導者（受験資格）	スポーツ健康学科	
健康運動指導士	〃	
健康管理士一般指導員	〃	

健康運動実践指導者

健康運動実践指導者とは、「積極的な健康づくりを目的とした運動を、安全かつ効果的に実践指導できる能力を有すると認められる者」に与えられる資格のひとつで、医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識・技術などを有することが必要です。そして、健康づくりを目的として作成された運動プログラムにもとづいて、「自ら見本を示せる実技能力と、特に集団に対する運動指導技術に長けた者」となることが要求されます。

健康運動指導士

健康運動指導士とは、保健医療関係者と連携しつつ、個々人の心身の状態に応じた安全で効果的な運動を実施するための運動プログラム作成および実践指導をおこなう者をいいます。財団法人健康・体力づくり事業財団では、ハイリスク者も対象にした安全で効果的な運動指導をおこなうことのできる専門家として健康運動指導士を位置づけています。そして、従来の「個々人の身体状況に応じた安全で効果的な運動を実施するための運動プログラム作成と指導」に加え、「生活習慣病にかかる可能性のある"ハイリスク者"への個別指導・健康支援」をおこなう人材として養成しています。

健康管理士一般指導員

健康管理士一般指導員とは、健康管理や予防医学全般にわたって幅広く学習し、生活習慣病の原因・発生機序からそれを予防するための栄養・運動・メンタルヘルスについて「身体と心」の両面から総合的な健康管理の指導やアドバイスをおこなう専門家です。

スポーツリーダー

スポーツリーダーとは、地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、スポーツ指導にあたる人のための基礎的資格です。取得後は、地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたるとともに、競技別指導者資格やフィットネス資格へステップアップすることも可能です。

スポーツプログラマー

スポーツプログラマーとは、おもに青年期以降のすべての人に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言をおこなう人のための資格です。

アシスタントマネージャー

アシスタントマネージャーとは、総合型の地域スポーツクラブにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネージャーを補佐し、クラブ経営のための諸活動をサポートする人のための資格です。

ジュニアスポーツ指導員

ジュニアスポーツ指導員とは、地域スポーツクラブなどにおいて、幼・少年期の子どもたちに遊びをとおした身体づくり、動きづくりの指導をおこなう人のための資格です。

レクリエーションインストラクター

レクリエーションインストラクターとは、集団を対象としてプログラムや活動を展開し、集団のコミュニケーションの促進やその中にいる個々人の主体性や協調性を引き出せる人、あるいは、地域社会の課題に目を向けてレクリエーションを活用した活動を展開できる人のための資格です。

履修モデル

スポーツ健康学科 履修モデル（教員免許、日本スポーツ協会関連資格、健康事業関連資格などの取得には下表の科目以外も必要となります）

科目区分		必修 選択	1年次 春学期	単位数	秋学期	単位数	2年次 春学期	単位数	秋学期	単位数	3年次 春学期	単位数	秋学期	単位数	4年次 春学期	単位数	秋学期	単位数	単位数計	卒業要件
NGU教養スタンダード		必修	キリスト教概説1 基礎セミナー キャリアデザイン1a 日本語表現 基礎英語1 英会話1 情報処理基礎	2 2 2 2 1 1 2	キリスト教概説2 基礎英語2 英会話2	2 1 1													16	16
		選択	【教養】スポーツ初級Ａ 【教養】心理学 【教養】陶芸論	1 2 2	発展セミナー 【教養】スポーツ初級Ｂ 【教養】文化人類学 【教条】物理学 キャリアデザイン1b	2 1 2 2 2	【教養】生物学	2	【教養】地学	2	キャリアデザイン3a	2	キャリアデザイン3b	2					22	18
学部共通科目		必修	健康科学概論 医学一般（概論） スポーツ原理	2 2 2	スポーツ科学概論	2	スポーツ生理学	2											10	10
		選択			栄養学概論	2	スポーツ社会学 スポーツ実技13（ウォーキング）	2 1	健康心理学 健康レクリエーション論 スポーツ実技11（ｽｷｰ）	2 2 1	スポーツ実技14（エアロビクスダンス）	1	スポーツ実技15（ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ）	1					12	10
学科基礎科目		必修					解剖・生理学	2											2	2
		選択					体育・スポーツ経営論	2	スポーツ指導論	2	バイオメカニクス 学校保健Ⅰ（小児保健、精神保健含む）（2年次配当）	2 2	発育発達とスポーツ 地域スポーツ論 生涯スポーツ論	2 2 2					14	10
学科専門科目	スポーツ実技科目	選択	スポーツ実技8（ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ）	1	スポーツ実技1（体つくり運動） スポーツ実技7（ｻｯｶｰ）	1 1	スポーツ実技19（ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ・ﾆｭｰｽﾎﾟｰﾂ） スポーツ実技16（ﾃﾆｽ）	1 1			スポーツ実技20（アダプテッドスポーツ） スポーツ実技17（ﾊﾝﾄﾞﾎﾞｰﾙ） スポーツ実技18（ﾗｸﾞﾋﾞｰ）	1 1 1							42	30
	スポーツ科目 スポーツ科学	必修					スポーツトレーニング論	2												
		選択					コーチング学 体育・スポーツ政策論	2 2	測定評価 体力トレーニング論	2 2	スポーツ戦略戦術情報論 スポーツ指導法Ⅰ スポーツ史 スポーツ栄養学	2 2 2 2								
	健康科学科目	必修					健康運動教育論	2												
		選択					救急処置の理論と実習	1	健康管理論 医学一般（各論）	2 2	予防医学（2年次配当） 健康フィールドワーク	2 1	スポーツ薬理学 生涯発達心理学	2 2						
演習		必修					専門演習	2			研究演習	1	研究演習	1	卒業研究	1	卒業研究	1	6	6
自由選択																			0	22
単位数計				24		19		24		17		22		14		1		1	124	124

卒業要件

卒業要件単位の修得

スポーツ健康学部のカリキュラム表にもとづいて必要な単位数（124 単位）以上を修得しなければなりません。

卒業要件単位数

上記の、学則第 16 条に規定する単位数（124 単位）を卒業要件単位数といいます。それぞれの単位数には必修科目を含みます。授業科目表と照らして区分ごとの要件をよく確認し、4 年間の履修計画をしっかり立ててください。

科目大区分	科目小区分	卒業要件	
		必修	選択
NGU教養 スタンダード科目	キリスト教	4単位	18単位以上
	自己理解と自己開発	4単位	
	情報	2単位	
	言語とコミュニケーション	6単位	
	歴史・文化の理解		
	社会の理解		
	自然・人間・生命の理解		
	地域の理解		
	教職　※1		
学部共通科目		10単位	12単位以上
学科基礎科目		2単位	10単位以上
学科専門科目	スポーツ実技科目		6単位以上
	スポーツ科学科目	2単位	30単位以上
	健康科学科目	2単位	
	演習科目	6単位	
自由選択　※2			10単位以上
卒業要件単位数合計		124単位以上	

[注記]※1　教職課程加入者のみ履修可。8単位まで卒業要件単位数とすることができる。(8単位を超える分については、自由選択科目の単位とする。）

※2　NGU教養スタンダード科目、学部共通科目、学科基礎科目、学科専門科目の領域から10単位以上を取得すること。前記各科目区分（領域）の卒業要件単位数を超える単位は「自由選択」単位としてカウントする。
また、他学科科目、オープン科目についても同様の扱いとする。

スポーツ健康学科　NGU教養スタンダード科目

授業科目名	単位数		配当年次	ナンバリング
	必修	選択		
キリスト教				
キリスト教概説1	2		1	AC1101
キリスト教概説2	2		1	AC1102
聖書学		2	2	AC2301
キリスト教倫理		2	2	AC2302
キリスト教史		2	1	AC1301
自己理解と自己開発				
基礎セミナー	2		1	AU1101
発展セミナー		2	1	AU1301
キャリアデザイン1a	2		1	AU1102
キャリアデザイン1b		2	1	AU1302
キャリアデザイン2a		2	2	AU2301
キャリアデザイン2b		2	2	AU2302
ボランティア学		2	1	AU1303
ボランティア演習		2	1	AU1304
インターンシップ1		2	1	AU1305
インターンシップ2		2	1	AU1306
情報				
情報処理基礎	2		1	AI1101
言語とコミュニケーション				
日本語表現	2		1	AV1101
日本語表現上級		2	1	AV1301
基礎英語1	1		1	AV1102
基礎英語2	1		1	AV1103
英会話1	1		1	AV1104
英会話2	1		1	AV1105
実用英語1		1	2	AV2301
実用英語2		1	2	AV2302
情報英語1		1	2	AV2303
情報英語2		1	2	AV2304
歴史・文化の理解				
【教養】日本史		2	1	AW1301
【教養】世界史		2	1	AW1302
【教養】日本文学		2	1	AW1303
【教養】外国文化論		2	1	AW1304
【教養】文化人類学		2	1	AW1305
【教養】陶芸論		2	1	AW1306
【教養】陶芸演習		2	1	AW1307

授業科目	単位数		配当年次	ナンバリング
	必修	選択		
社会の理解				
【教養】政治学		2	1	AO1301
【教養】国際政治学		2	1	AO1302
【教養】国際関係論		2	1	AO1303
【教養】平和学		2	1	AO1304
【教養】法学		2	1	AO1305
【教養】日本国憲法		2	1	AO1306
【教養】経済学		2	1	AO1307
【教養】経営学		2	1	AO1308
【教養】統計学		2	1	AO1309
【教養】社会学		2	1	AO1310
【教養】教育学		2	1	AO1311
自然・人間・生命の理解				
【教養】哲学		2	1	AN1301
【教養】心理学		2	1	AN1302
【教養】数学		2	1	AN1303
【教養】物理学		2	1	AN1304
【教養】化学		2	1	AN1305
【教養】地学		2	1	AN1306
【教養】生物学		2	1	AN1307
【教養】環境学		2	1	AN1308
【教養】情報処理論		2	2	AN2301
【教養】スポーツ初級a		1	1	AN1309
【教養】スポーツ初級b		1	1	AN1310
地域の理解				
まちづくり学		2	1	AR1301
まちづくり演習		2	1	AR1302
上級まちづくり演習		2	2	AR2301
教職				
教職論		2	1	AQ1301
教育原理		2	1	AQ1302
教育心理学概論1		2	1	AQ1303
教育心理学概論2		2	1	AQ1304
教育制度論		2	1	AQ1305
特別活動論		2	2	AQ2301
教育の方法と技術		2	2	AQ2302
道徳教育論		2	2	AQ2303
生徒・進路指導論		2	2	AQ2304
教育相談		2	2	AQ2305

スポーツ健康学科　専門科目

	授業科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	ナンバリング
学部共通科目	健康科学概論	2		1	SH1101
	スポーツ科学概論	2		1	SH1102
	スポーツ原理	2		1	SH1103
	スポーツ心理学		2	1	SH1301
	健康心理学		2	2	SH2301
	スポーツ倫理学		2	3	SH3301
	スポーツ社会学		2	2	SH2302
	スポーツ生理学	2		2	SH2101
	栄養学概論		2	1	SH1302
	健康レクリエーション論		2	2	SH2303
	医学一般(概論)	2		1	SH1104
	看護学概論		2	3	SH3302
	国際スポーツ健康事情		2	1	SH1303
	スポーツ実技11(スキー)		1	1	SH1304
	スポーツ実技12(アクアビクス)		1	2	SH2304
	スポーツ実技13(ウォーキング)		1	2	SH2305
	スポーツ実技14(エアロビクスダンス)		1	2	SH2306
	スポーツ実技15(コンディショニング)		1	3	SH3303
学科基礎科目	解剖・生理学	2		2	SH2102
	バイオメカニクス		2	3	SH3304
	体育・スポーツ経営論		2	2	SH2307
	学校保健Ⅰ(小児保健、精神保健含む)		2	2	SH2308
	発育発達とスポーツ		2	3	SH3305
	地域スポーツ論		2	3	SH3306
	生涯スポーツ論		2	3	SH3307
	スポーツ指導論		2	2	SH2309
学科専門科目	スポーツ実技科目				
	スポーツ実技1(体つくり運動)		1	1	SH1305
	スポーツ実技2(器械運動)		1	1	SH1306
	スポーツ実技3(陸上)		1	1	SH1307
	スポーツ実技4(水泳)		1	1	SH1308
	スポーツ実技5(柔道)		1	3	SH3308
	スポーツ実技6(ダンス)		1	3	SH3309
	スポーツ実技7(サッカー)		1	1	SH1309
	スポーツ実技8(バスケットボール)		1	1	SH1310
	スポーツ実技9(バレーボール)		1	2	SH2310
	スポーツ実技10(ソフトボール)		1	2	SH2311
	スポーツ実技16(テニス)		1	1	SH1311
	スポーツ実技17(ハンドボール)		1	3	SH3310
	スポーツ実技18(ラグビー)		1	3	SH3311
	スポーツ実技19（レクリエーション・ニュースポーツ）		1	2	SH2312
	スポーツ実技20（アダプテッドスポーツ）		1	3	SH3312
	スポーツ科学科目				
	コーチング学		2	2	SH2313
	スポーツトレーニング論	2		2	SH2103
	スポーツコンディショニング論		2	2	SH2314
	測定評価		2	2	SH2315
	体力トレーニング論		2	2	SH2316
	スポーツ戦略戦術情報論		2	3	SH3313
	運動プログラム論		2	3	SH3314
	体育・スポーツ政策論		2	2	SH2317
	高齢者運動スポーツ論		2	3	SH3315
	スポーツ指導法Ⅰ		2	3	SH3316
	スポーツ指導法Ⅱ		2	3	SH3317
	スポーツ文化論		2	3	SH3318
	スポーツ史		2	3	SH3319
	スポーツ栄養学		2	3	SH3320
	保健体育科教育法1		4	2	SH2318
	保健体育科教育法2		4	3	SH3321

	授業科目名	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	ナンバリング
学科専門科目	健康科学科目				
	健康管理論		2	2	SH2319
	健康運動教育論	2		2	SH2104
	衛生学・公衆衛生学		2	2	SH2320
	保健統計		2	3	SH3322
	運動障害と予防		2	3	SH3323
	学校保健Ⅱ（学校安全・救急処置含む）		2	2	SH2321
	スポーツ薬理学		2	3	SH3324
	健康とセルフメディケーション		2	3	SH3325
	健康レクリエーション実習		2	3	SH3326
	健康運動実習		1	4	SH4301
	医学一般(各論)		2	2	SH2322
	予防医学		2	2	SH2323
	救急処置の理論と実習		1	2	SH2324
	健康フィールドワーク		1	3	SH3327
	生涯発達心理学		2	3	SH3328
	演習科目				
	専門演習	2		2	SH2105
	研究演習	2		3	SH3101
	卒業研究	2		4	SH4101
	教職実践演習（中・高）		2	4	SH4302

スポーツ健康学部　こどもスポーツ教育学科

教育目標（学則第 3 条の 2 より）

こどもスポーツ教育学科は、こどもの成長やスポーツに関する高度な専門知識を基に、心身ともに健やかな幼児期および児童期を保証し、さらにスポーツ習慣の形成による生涯をとおして健康を考え、指導・教育ができ、健やかな社会つくりに貢献できる人材の育成を教育目標とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

こどもスポーツ教育学科に所属する学生は、卒業後に幼稚園教諭ならびに小学校教諭として、あるいは他の職域などで幼少期の教育やスポーツ活動の推進に貢献することが期待されます。学部および学科のカリキュラムを履修、学修することをとおして、以下の能力が獲得できます。これに併せて、卒業に必要とされる所定の単位と要件を満たした学生にはスポーツ健康学部から学士（こどもスポーツ教育）の学位が授与されます。

知識・技能

1）こどもの発育・発達に関する基本的知識を修得し、その概要を説明できる。
2）こどもの発育・発達と運動との関係を理解し、その概要を説明できる。
3）幼稚園および小学校における教育内容を理解し、その概要を説明できる。
4）幼稚園および小学校において、適切な教科（領域）指導ができる。
5）基本的な運動技術およびそれらの指導技術を実践することができる。

思考力・判断力・表現力

1）社会における幼児教育ならびに初等教育に関する課題の実態を把握し、その関連要因、解決方法あるいは改善策を提示することができる。
2）幼稚園ならびに小学校において、対象の特性や諸条件に合わせて適宜教育・指導計画を立案し、実践の場面で臨機応変に改変し対応することができる。
3）情報を整理し、その結果をまとめるとともに、それらに関するプレゼンテーションをおこなうことができる。

主体性・多様性・協働性

1）こどもやスポーツならびに教育に関する情報を積極的かつ広範に求める態度を身につけている。
2）課題解決に対して常に積極的に周囲と協力して取り組む態度を身につけている。
3）教育・指導の場面においては参加者（受講者など）の立場を考慮することができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

ディプロマ・ポリシーの能力の獲得を目的として、こどもスポーツ教育学科では、以下のカリキュラムを提供します。こどもスポーツ教育学科のカリキュラムは、≪NGU 教養スタンダード科目≫と≪学部共通科目≫、≪学科基礎科目≫および≪学科専門科目≫によって構成されています。カリキュラムと≪専門科目≫の特徴は以下のとおりです。

教育内容

1）カリキュラムは成熟した市民としての基礎的素養を修得する≪NGU 教養スタンダード科目≫、スポーツ健康学部の 2 学科に共通して必要な知識・技能を修得する≪学部共通科目≫を設置しています。その上に学科に特化した≪学科基礎科目≫と≪学科専門科目≫を設定しています。≪学科専門科目≫は、＜こどもスポーツ・健康科目＞、＜初等教育科目＞、＜幼児教育科目＞そして＜演習科目＞によって構成されています。

2）≪学科基礎科目≫は、＜こどもスポーツ・健康科目＞、＜初等教育科目＞、＜幼児教育科目＞そして＜演習科目＞によって構成されており、こどもの教育およびこどもの運動に特化した基礎的専門知識の修得をねらいとしています。

3）≪学科専門科目≫は、＜こどもスポーツ・健康科目＞、＜初等教育科目＞、＜幼児教育科目＞そして＜演習科目＞によって構成されています。

＜こどもスポーツ・健康科目＞においては、こどもの健康や運動・スポーツの他、初等教育・幼児教育に関連する知識の修得をねらいとしています。

＜初等教育科目＞は小学校教諭養成に必要とされる、教科、教職その他関連領域の知識･技能の修得をねらいとしています。

＜幼児教育科目＞は幼稚園教諭養成に必要とされる、教科、教職その他関連領域の知識･技能の修得をねらいとしています。

＜演習科目＞は 4 年間を通じたゼミナール科目と、教職に就くための資質･能力の総仕上げをする「教職実践演習」が配置されています。

教育方法

1）多人数講義においても ICT を活用した情報提供ツールを積極的に活用し、知的興味・関心を醸成します。

2）講義科目においては、小テストや面接を通して受講生の学習状況や理解度の把握に努めます。

3）演習科目については、担当教員が学生相互の議論を誘導し、集団討議や成果発表をおこないます。

学修成果の評価

1）各科目の評価は、原則として平常点および期末試験などによる総合評価（100 点満点）によりおこなわれます。

2）思考力・判断力・表現力や主体性・多様性・協働性については、それぞれの授業科目において必要に応じて達成度指標を設けて段階的に評価したうえで総合評価に加えます。

3）学修の成果として GPA の他、卒業論文や論文などで達成度を評価します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

こどもスポーツ教育学科は、こどもの運動やスポーツに関する素養を備え、こどもの心身ともに健やかな成長に貢献できる、専門知識と実践的な教育力をもった人材を育成することを設置の理念としており、具体的には幼稚園教諭ならびに小学校教諭の養成を大きなねらいとしています。

そこで、スポーツや運動に興味をもつとともに、こどもの教育や指導に関心をもち、将来幼稚園、小学校あるいは企業や地域社会において、こどもの健全な発育発達に貢献することを望む学生を求めています。

カリキュラムの概要

≪学科基礎科目≫は「こどもスポーツ教育論」や「発育発達とスポーツ」などの講義および「運動指導法」といった実技科目を含めて、10 単位が必修であり、それに加えて選択として 3 単位以上の修得が必要となっています。

≪学科専門科目≫のうち必修が 78 単位となっています。これに加えて選択科目を 13 単位以上修得することが必要です。

また幼児教育コース（幼稚園教員免許取得カリキュラムのこと、以下同じ）ならびに初等教育コース（小学校教員免許取得カリキュラムのこと、以下同じ）には、それぞれコース指定科目が設定されており、それらを修得する必要があります。

さらに日本体育協会その他の認定する資格を取得する場合は、指定されている科目の履修が必要となります。

カリキュラム上の特色

こどもスポーツ教育学科では、幼稚園教員免許または小学校教員免許を取得するための、幼児教育コース（履修モデル）と初等教育コース（履修モデル）を設けています。各コースの特徴は以下のとおりです。

1) 幼児教育コースは、この幼稚園教育の基本を踏まえ、教職と各種教科に関する知識と教育力を総合的に修得することをねらいとしています。教育課程においては、幼稚園教育の全領域についての指導力、教職、その他関連する知識や実践的指導力を身につけた上で、幼児の健康や運動に関する素養をあわせもった幼稚園教諭の輩出を意図しています。
2) 初等教育コースは、この小学校教育の基本を踏まえ、初等教育の諸活動に関する知識と教育力を総合的に修得させることをねらいとしています。教育課程において、小学校教育の全教科などについての指導力、教職、その他関連する知識や実践的指導力を身につけた上で、児童の健康や運動に関する素養をあわせもった小学校教員の輩出を意図しています。

入学後に幼稚園教員免許または小学校教員免許の取得、あるいは両方の免許の取得を各自が判断すれば、それぞれに必要な科目を履修できるように配置されています。

また、教員免許を取得しなくても、規程に従って必要な単位を修得すれば卒業することは可能です。

演習科目

こどもスポーツ教育学科では、1 年次に「基礎セミナー」および「発展セミナー」、2 年次に「専門演習」、3 年次に「研究演習」さらに 4 年次に「卒業研究」を配置することにより、4 年間一貫した少人数でのゼミナール形式の演習をおこないます。みなさんは、学修のそれぞれの段階で、指導教員のもと、自らの関心を広げ、課題を発見し、研究や討論を通じて問題を解決しながら、能力の向上に努めてください。また、4 年間一貫のゼミナール教育で、積極的な人間的交流をはかることにより、幅広い友人関係を育み、指導教員を含めた有機的なコミュニケーションのパイプを築いてください。ゼミナールは 4 年間の大学生活の中核であり、学修、研究、指導教員やゼミ生間の交流をとおして大学での学修の集大成となり、将来の人生への基盤となるものです。

＜基礎セミナーおよび発展セミナー＞

1 年次配当の「基礎セミナー」および「発展セミナー」は、導入および基礎教育をフォローするための科目です。2・3 年次においての専門研究に取り組むための基礎を築きます。

① こどもやスポーツや教育に関する文章を読み、その内容を要約、紹介する。
② こどもやスポーツや教育に関する問題を提起し、討論する。
③ こどもやスポーツや教育に関する情報を収集し、紹介する。
④ 図書検索や、インターネットを利用しての検索を学修する。

①から④の方法をとおして、健康に関する知識を高めながら、読解力の育成や文章を要約しまとめる能力の向上をはかります。

専門演習

2 年次配当の「専門演習」では、興味のあるこどもやスポーツや教育に関するテーマを基本に、指導教員のもとで、より専門的な学修をおこないます。

① こどもやスポーツや教育に関する図書や文献を読み、その内容について紹介、討論をおこなう。

② こどもやスポーツや教育に関する英語の文章を読み、報告、討論をおこなう。

③ こどもやスポーツや教育に関するテーマの中で、関心のある事象を調べ、報告する。

④ レポート作成やプレゼンテーションの基礎を学ぶ。

研究演習

3 年次配当の「研究演習」では、こどもやスポーツや教育に関する多くの課題の中から、卒業研究テーマを模索しながら自らの関心を絞り込み、情報収集、資料収集を通じて卒業研究テーマの基礎を学修します。

① 国内および海外で刊行された専門の文献や著書を読み、その論点の要旨を理解する。

② 専門の文献や著書の読解をとおして、その論点を理解し、問題点を探る。

③ 関心のある事象の問題点を整理し、その解決方法を探る。

④ 関心のあるテーマを絞り、研究課題を策定、プレゼンテーションをおこなう。

⑤ プレゼンテーションおよびその討論を基礎にして研究報告書（4,000 字以上）の作成をおこなう。

卒業研究をおこなうための基本的研究への取り組み姿勢を養いながら、研究の方法論を身につけてください。

なお、「研究演習」の登録は前年度の秋学期から開始され、選考がおこなわれます。自分の希望する教員のゼミでどのようなことがおこなわれているかを演習概要で確認してください。そして、オフィスアワーを利用するなどしてその教員を訪ね、面談の上で決定すると良いでしょう。

卒業研究

「卒業研究」は、「研究演習」の指導教員のもとで作成した「研究報告書」をもとに、専門的研究の集大成として、研究成果を卒業論文（10,000 字以上）にまとめます。

演習科目の履修にあたって

以下の場合は「研究演習」の履修ができませんので、注意してください。

1) 2 年次の終了時点で総修得単位数が 48 単位に満たない者

2) 「基礎セミナー」を修得していない者

また原則として、「研究演習」を修得していない者は、「卒業研究」を履修できません。

スポーツ健康学部で取得できる資格

スポーツ健康学部のカリキュラムにある特定の科目を履修し単位を修得することにより、以下の資格を取得または受験資格を取得することができます。履修の詳細については、ガイダンスなどで説明します。積極的に参加し、情報を収集してください。

なお資格取得については、資格課程登録料のほかに実習費、宿泊費、保険料、資格試験料などを徴収する場合があります。

資　格　種　類	対象学科	資格課程登録料など
スポーツリーダー	スポーツ健康学科	2 年次春学期の資格課程登録の際に、登録料の詳細をお知らせします。
スポーツプログラマー（受験資格）	〃	
アシスタントマネージャー（受験資格）	〃	
ジュニアスポーツ指導員（受験資格）	両学科	
レクリエーションインストラクター	〃	
健康運動実践指導者（受験資格）	スポーツ健康学科	
健康運動指導士	〃	
健康管理士一般指導員	〃	

健康運動実践指導者

健康運動実践指導者とは、「積極的な健康づくりを目的とした運動を、安全かつ効果的に実践指導できる能力を有すると認められる者」に与えられる資格のひとつで、医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識・技術などを有することが必要です。そして、健康づくりを目的として作成された運動プログラムにもとづいて、「自ら見本を示せる実技能力と、特に集団に対する運動指導技術に長けた者」となることが要求されます。

健康運動指導士

健康運動指導士とは、保健医療関係者と連携しつつ、個々人の心身の状態に応じた安全で効果的な運動を実施するための運動プログラム作成および実践指導をおこなう者をいいます。財団法人健康・体力づくり事業財団では、ハイリスク者も対象にした安全で効果的な運動指導をおこなうことのできる専門家として健康運動指導士を位置づけています。そして、従来の「個々人の身体状況に応じた安全で効果的な運動を実施するための運動プログラム作成と指導」に加え、「生活習慣病にかかる可能性のある"ハイリスク者"への個別指導・健康支援」をおこなう人材として養成しています。

健康管理士一般指導員

健康管理士一般指導員とは、健康管理や予防医学全般にわたって幅広く学習し、生活習慣病の原因・発生機序からそれを予防するための栄養・運動・メンタルヘルスについて「身体と心」の両面から総合的な健康管理の指導やアドバイスをおこなう専門家です。

スポーツリーダー

スポーツリーダーとは、地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、スポーツ指導にあたる人のための基礎的資格です。取得後は、地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたるとともに、競技別指導者資格やフィットネス資格へステップアップすることも可能です。

スポーツプログラマー

スポーツプログラマーとは、おもに青年期以降のすべての人に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言をおこなう人のための資格です。

アシスタントマネージャー

アシスタントマネージャーとは、総合型の地域スポーツクラブにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネージャーを補佐し、クラブ経営のための諸活動をサポートする人のための資格です。

ジュニアスポーツ指導員

ジュニアスポーツ指導員とは、地域スポーツクラブなどにおいて、幼・少年期の子どもたちに遊びをとおした身体づくり、動きづくりの指導をおこなう人のための資格です。

レクリエーションインストラクター

レクリエーションインストラクターとは、集団を対象としてプログラムや活動を展開し、集団のコミュニケーションの促進やその中にいる個々人の主体性や協調性を引き出せる人、あるいは、地域社会の課題に目を向けてレクリエーションを活用した活動を展開できる人のための資格です。

履修モデル

こどもスポーツ教育学科 履修モデル（幼稚園免許を主たるコース）

ｱﾐｶｹは必修科目

年次	区分	NGU教養スタンダード科目										学部共通科目		学科基礎科目		学科専門科目								合計
		キリスト教		自己開発と自己理解		社会的教養		言語とコミュニケーション		情報処理						こどもスポーツ・教育科目		初等教育科目		幼児教育科目		演習科目		
1年	前期	キリスト教概説1	2	基礎セミナー	2	【教養】日本国憲法	2	日本語表現	2	情報処理基礎	2	健康科学概論	2					教育心理学1	2					21
				キャリアデザインIa	2	【教養】スポーツ初級A	1	基礎英語1	1									教職原論	2					
								英会話1	1															
	後期	キリスト教概説2	2	発展セミナー	2	まちづくり学	2	基礎英語2	1			スポーツ科学概論	2	こどもスポーツ教育論	2	こどもの運動遊び（伝承あそびを含む）	2	教育心理学2	2	保育内容総論	2			24
						【教養】スポーツ初級B	1	英会話2	1			スポーツ心理学	2	発育発達とスポーツ	2									
												ｽﾎﾟｰﾂ実技11（スキー）	1											
	計		4		6		6		6		2		7		4		2		6		2		0	45
2年	前期													保育原理	2			教育課程の意義と編成	2	保育・教育課程論	2	専門演習	2	24
																		特別活動の理論と方法	2	保育内容指導法(言葉)	2			
																		体育科教育法(初等)	2	保育内容指導法(環境)	2			
																		国語科教育法	2	保育内容指導法(健康)	2			
																		算数科教育法	2					
																		生活科教育法	2					
	後期													初等教育原理	2	こどもと健康	2	道徳教育の理論と方法	2	保育内容指導法(人間関係)	2			24
												ｽﾎﾟｰﾂ実技9（ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ）	1	スポーツ実技19（ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ・ﾆｭｰｽﾎﾟｰﾂ）	1			進路指導・生徒指導論	2	保育内容指導法(表現・音楽)	2			
																		教育の制度と経営	2	保育内容指導法(表現・造形)	2			
																		教育方法・技術論	2					
																		理科教育法	2					
																		社会科教育法	2					
	計		0		0		0		0		0		1		5		2		24		14		2	48
3年	前期												2	運動指導法Ⅰ（器械運動，ボール運動）	1			初等算数	2	保育内容演習（言葉・環境）	2	研究演習	1	18
														ｽﾎﾟｰﾂ実技20（アダプテッドスポーツ）	1			初等国語(書写を含む)	2	教育実習Ⅰ（幼稚園）	1			
																		家庭科教育法	2					
																		英語科教育法	2					
																		総合的な学習の時間の指導法	2					
	後期											健康レクリエーション論（2年次配当）		運動指導法Ⅱ（陸上運動，水泳）	1	幼児理解の理論と方法※	2	教育相談の基礎	2	保育内容演習（健康・人間関係）	2	研究演習	1	23
																		初等体育	2	保育内容演習（表現・音楽）	2			
																		初等英語	1	保育内容演習（表現・造形）	2			
																		音楽科教育法	2	幼稚園実習事前・事後指導	1			
																		図画工作科教育法	2	教育実習2（幼稚園）	3			
	計		0		0		0		0		0		2		3		2		19		13		2	41
4年	前期																	初等音楽	2			卒業研究	1	5
																		初等図画工作	2					
	後期																					教職実践演習	2	3
																						卒業研究	1	
	計		0		0		0		0		0		0		0		0		4		0		4	8
合計		4		6		6		6		2		10		12		96								142
卒業要件		4		4		6		6		2		10		13		91								136

※．幼稚園免許取得に必要

こどもスポーツ教育学科 履修モデル（小学校免許を主たるコース）

ｱﾐｶｹは必修科目

区分 / 年次		NGU教養スタンダード科目										学部共通科目		学科基礎科目		学科専門科目								合計
		キリスト教		自己開発と自己理解		社会的教養		言語とコミュニケーション		情報処理						こどもスポーツ・教育科目		初等教育科目		幼児教育科目		演習科目		
1年	前期	キリスト教概説1	2	基礎セミナー	2	【教養】日本国憲法	2	日本語表現	2	情報処理基礎	2	健康科学概論	2					教育心理学1	2					23
				キャリアデザインⅠa	2	【教養】スポーツ初級A	1	基礎英語1	1									教職原論	2					
						【教養】心理学	2	英会話1	1															
	後期	キリスト教概説2	2	発展セミナー	2			基礎英語2	1			スポーツ科学概論	2	こどもスポーツ教育論	2	こどもの運動遊び（伝承あそびを含む）	2	教育心理学2	2	保育内容総論	2			22
						【教養】スポーツ初級B	1	英会話2	1			スポーツ心理学	2	発育発達とスポーツ	2									
												ｽﾎﾟｰﾂ実技11（スキー）	1											
	計		4		6		6		6		2		7		4		2		6		2		0	45
2年	前期													保育原理	2			教育課程の意義と編成	2	保育教育課程論	2	専門演習	2	24
																		特別活動の理論と方法	2	保育内容指導法(言葉)	2			
																		体育科教育法(初等)	2	保育内容指導法(環境)	2			
																		国語科教育法	2	保育内容指導法(健康)	2			
																		算数科教育法	2					
																		生活科教育法	2					
	後期													初等教育原理	2	こどもと健康	2	道徳教育の理論と方法	2	保育内容指導法(人間関係)	2			24
												ｽﾎﾟｰﾂ実技9（ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ）	1	スポーツ実技19（ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ・ﾆｭｰｽﾎﾟｰﾂ）	1			進路指導・生徒指導論	2	保育内容指導法(表現・音楽)	2			
																		教育の制度と経営	2	保育内容指導法(表現・造形)	2			
																		教育方法・技術論	2					
																		理科教育法	2					
																		社会科教育法	2					
	計		0		0		0		0		0		1		5		2		24		14		2	48
3年	前期											スポーツ社会学（2年次配当）	2	運動指導法Ⅰ（器械運動，ボール運動）	1	学校保健・安全論	2	初等算数	2			研究演習	1	18
																		初等国語(書写を含む)	2					
																		家庭科教育法	2					
																		英語科教育法	2					
																		総合的な学習の時間の指導法	2					
																		特別支援教育論	2					
	後期													運動指導法Ⅱ（陸上運動，水泳）	1	幼児理解の理論と方法※	2	教育相談の基礎	2			研究演習	1	18
														地域スポーツ論（2年次配当）	2			初等体育	2					
																		初等英語	1					
																		音楽科教育法	2					
																		図画工作科教育法	2					
																		学級経営論	2					
																		教育実習1（小学校）	1					
	計		0		0		0		0		0		2		4		4		24		0		2	36
4年	前期																	初等音楽	2			卒業研究	1	20
																		初等図画工作	2					
																		初等算数（演習）	2					
																		国語科教育実践論	2					
																		算数科教育実践論	2					
																		理科教育実践論	2					
																		社会科教育実践論	2					
																		体育科教育実践論	2					
																		教育実習2（小学校）	3					
	後期																					教職実践演習	2	4
																		小学校教育実習事前・事後指導	1			卒業研究	1	
	計		0		0		0		0		0		0		0		0		20		0		4	24
合計		4		6		6		6		2		10		13		106								153
卒業要件		4		4		6		6		2		10		13		91								136

※．幼稚園免許取得に必要

卒業要件

卒業要件単位の修得

スポーツ健康学部のカリキュラム表にもとづいて必要な単位数（136 単位）以上を修得しなければなりません。

卒業要件単位数

上記の、学則第 16 条に規定する単位数（136 単位）を卒業要件単位数といいます。それぞれの単位数には必修科目を含みます。授業科目表と照らして区分ごとの要件をよく確認し、4 年間の履修計画をしっかり立ててください。

科目大区分	科目小区分	卒業要件	
		必修	選択
NGU教養 スタンダード科目	キリスト教	4単位	6単位以上
	自己理解と自己開発	4単位	
	情報	2単位	
	言語とコミュニケーション	6単位	
	歴史・文化の理解		
	社会の理解		
	自然・人間・生命の理解		
	地域の理解		
	教職		
学部共通科目		4単位	6単位以上
学科基礎科目		10単位	3単位以上
学科専門科目　※1	こどもスポーツ・健康科目	4単位	13単位以上
	初等教育科目	52単位	
	幼児教育科目	16単位	
	演習科目	6単位	
卒業要件単位数合計		136単位以上	

〔注記〕　※1　学科専門科目において、こどもスポーツ・健康科目、初等教育科目、幼児教育科目及び演習科目から必修科目78単位のほか13単位を選択。

※2　幼稚園教諭第一種免許、小学校教諭第一免許の取得に関わる履修要件は別に定める。

こどもスポーツ教育学科　NGU教養スタンダード科目

授業科目名	単位数		配当年次	ナンバリング
	必修	選択		
キリスト教				
キリスト教概説1	2		1	AC1101
キリスト教概説2	2		1	AC1102
聖書学		2	2	AC2301
キリスト教倫理		2	2	AC2302
キリスト教史		2	1	AC1301
自己理解と自己開発				
基礎セミナー	2		1	AU1101
発展セミナー		2	1	AU1301
キャリアデザイン1a	2		1	AU1102
キャリアデザイン1b		2	1	AU1302
キャリアデザイン2a		2	2	AU2301
キャリアデザイン2b		2	2	AU2302
ボランティア学		2	1	AU1303
ボランティア演習		2	1	AU1304
インターンシップ1		2	1	AU1305
インターンシップ2		2	1	AU1306
情報				
情報処理基礎	2		1	AI1101
言語とコミュニケーション				
日本語表現	2		1	AV1101
日本語表現上級		2	1	AV1301
基礎英語1	1		1	AV1102
基礎英語2	1		1	AV1103
英会話1	1		1	AV1104
英会話2	1		1	AV1105
実用英語1		1	2	AV2301
実用英語2		1	2	AV2302
情報英語1		1	2	AV2303
情報英語2		1	2	AV2304
歴史・文化の理解				
【教養】日本史		2	1	AW1301
【教養】世界史		2	1	AW1302
【教養】日本文学		2	1	AW1303
【教養】外国文化論		2	1	AW1304
【教養】文化人類学		2	1	AW1305
【教養】陶芸論		2	1	AW1306
【教養】陶芸演習		2	1	AW1307

授業科目	単位数		配当年次	ナンバリング
	必修	選択		
社会の理解				
【教養】政治学		2	1	AO1301
【教養】国際政治学		2	1	AO1302
【教養】国際関係論		2	1	AO1303
【教養】平和学		2	1	AO1304
【教養】法学		2	1	AO1305
【教養】日本国憲法		2	1	AO1306
【教養】経済学		2	1	AO1307
【教養】経営学		2	1	AO1308
【教養】統計学		2	1	AO1309
【教養】社会学		2	1	AO1310
【教養】教育学		2	1	AO1311
自然・人間・生命の理解				
【教養】哲学		2	1	AN1301
【教養】心理学		2	1	AN1302
【教養】数学		2	1	AN1303
【教養】物理学		2	1	AN1304
【教養】化学		2	1	AN1305
【教養】地学		2	1	AN1306
【教養】生物学		2	1	AN1307
【教養】環境学		2	1	AN1308
【教養】情報処理論		2	2	AN2301
【教養】スポーツ初級a		1	1	AN1309
【教養】スポーツ初級b		1	1	AN1310
地域の理解				
まちづくり学		2	1	AR1301
まちづくり演習		2	1	AR1302
上級まちづくり演習		2	2	AR2301
教職				
教育原理		2	1	AQ1301
特別活動論		2	2	AQ2301
道徳教育論		2	2	AQ2302
生徒・進路指導論		2	2	AQ2303

こどもスポーツ教育学科　専門科目

授業科目		単位数 必修	単位数 選択	配当年次	ナンバリング
学部共通科目	健康科学概論	2		1	SM1101
	スポーツ科学概論	2		1	SM1102
	スポーツ原理		2	2	SM2301
	スポーツ心理学		2	1	SM1301
	健康心理学		2	3	SM3301
	スポーツ倫理学		2	3	SM3302
	スポーツ社会学		2	2	SM2302
	スポーツ生理学		2	2	SM2303
	栄養学概論		2	2	SM2304
	健康レクリエーション論		2	2	SM2305
	医学一般(概論)		2	2	SM2306
	看護学概論		2	3	SM3303
	国際スポーツ健康事情		2	1	SM1302
	スポーツ実技11(スキー)		1	1	SM1303
	スポーツ実技12(アクアビクス)		1	2	SM2307
	スポーツ実技13(ウォーキング)		1	2	SM2308
	スポーツ実技14(エアロビクスダンス)		1	2	SM2309
	スポーツ実技15(コンディショニング)		1	3	SM3304
学科基礎科目	こどもスポーツ教育論	2		1	SM1103
	発育発達とスポーツ	2		1	SM1104
	地域スポーツ論		2	2	SM2310
	初等教育原理	2		2	SM2101
	保育原理	2		2	SM2102
	運動指導法Ⅰ（器械運動、ボール運動）	1		3	SM3101
	運動指導法Ⅱ(陸上運動、水泳)	1		3	SM3102
	児童の体つくりと動きつくり		1	1	SM1304
	こども運動指導論		2	2	SM2311
	スポーツ実技9(バレーボール)		1	2	SM2312
	スポーツ実技10(ソフトボール)		1	2	SM2313
	スポーツ実技19（レクリエーション・ニュースポーツ）		1	2	SM2314
	スポーツ実技20（アダプテッドスポーツ）		1	3	SM3305
学科専門科目	こどもスポーツ・健康科目				
	こどものからだの発育発達		2	3	SM3306
	幼児理解の理論と方法		2	3	SM3307
	こどもと健康	2		1	SM1105
	こどもの運動遊び(伝承遊びを含む)	2		1	SM1106
	こどもの食と栄養		2	3	SM3308
	健康フィールドワーク		1	3	SM3309
	学校保健・安全論		2	3	SM3310
	生涯スポーツ論		2	2	SM2315
	健康レクリエーション実習		2	3	SM3311
	障害者福祉論		2	3	SM3312
	こどもの医学		2	3	SM3313
	初等教育科目				
	体育科教育法(初等)	2		2	SM2103
	体育科教育実践論		2	4	SM4301
	国語科教育法	2		2	SM2104
	国語科教育実践論		2	4	SM4302
	算数科教育法	2		2	SM2105
	算数科教育実践論		2	4	SM4303
	理科教育法	2		2	SM2106
	理科教育実践論		2	4	SM4304
	社会科教育法	2		2	SM2107
	社会科教育実践論		2	4	SM4305
	音楽科教育法	2		3	SM3103
	図画工作科教育法	2		3	SM3104
	家庭科教育法	2		3	SM3105
	生活科教育法	2		2	SM2108
	初等体育	2		3	SM3106
	初等国語(書写を含む)	2		3	SM3107
	初等算数	2		3	SM3108
	初等算数(演習)		2	4	SM4306

授業科目名		単位数 必修	単位数 選択	配当年次	ナンバリング
学科専門科目	初等理科		2	3	SM3314
	初等社会		2	3	SM3315
	初等生活		2	2	SM2316
	初等音楽	2		4	SM4101
	初等図画工作	2		4	SM4102
	初等家庭科		2	4	SM4307
	教育課程の意義と編成	2		2	SM2109
	特別活動の理論と方法	2		2	SM2110
	道徳教育の理論と方法	2		2	SM2111
	進路指導・生徒指導論	2		2	SM2112
	教職原論	2		1	SM1107
	教育心理学1	2		1	SM1108
	教育心理学2		2	1	SM1305
	教育の制度と経営	2		2	SM2113
	教育方法・技術論	2		2	SM2114
	教育相談の基礎	2		3	SM3109
	英語科教育法	2		3	SM3110
	初等英語	1		3	SM3111
	学級経営論		2	3	SM3316
	特別支援教育論	1		3	SM3112
	総合的な学習の時間の指導法	2		3	SM3113
	小学校教育実習事前・事後指導		1	4	SM4308
	教育実習1(小学校、インターンシップを含む)		1	3	SM3317
	教育実習2(小学校)		3	4	SM4309
	幼児教育科目				
	保育内容指導法(言葉)	2		2	SM2115
	保育内容指導法(環境)	2		2	SM2116
	保育内容演習(言葉・環境)		2	3	SM3318
	保育内容指導法(健康)	2		2	SM2117
	保育内容指導法(人間関係)	2		2	SM2118
	保育内容演習(健康・人間関係)		2	3	SM3319
	保育内容指導法(表現・音楽)	2		2	SM2119
	保育内容演習(表現・音楽)		2	3	SM3320
	保育内容指導法(表現・造形)	2		2	SM2120
	保育内容演習(表現・造形)		2	3	SM3321
	保育内容総論	2		1	SM1109
	保育・教育課程論	2		2	SM2121
	幼児体育		2	3	SM3322
	幼稚園実習事前・事後指導		1	3	SM3323
	教育実習1(幼稚園)		1	3	SM3324
	教育実習2(幼稚園)		3	3	SM3325
	演習科目				
	教職実践演習（幼・小）		2	4	SM4310
	専門演習	2		2	SM2122
	研究演習	2		3	SM3114
	卒業研究	2		4	SM4103